

「第六回宝塚ちどり納涼祭」実施

納涼祭実行委員長 尾崎馨一郎

七月十五日（月）、「第六回宝塚ちどり納涼祭」を開催しました。

当日は朝から雨が降り続き、屋外での開催は難しいかという話にもなりましたが、うれしいことに、開始時間の一時間ほど前に天候も回復して、屋外で納涼祭を実施することができました。

納涼祭には、ご利用者・ご家族・地域住民の方々が当施設を訪れ、当日の準備や接客のお手伝いをして下さいました。グループホームの二階ベランダに大きく掲げた「納涼祭」の看板は、デイサービスのご利用者



が力を合わせて、納涼祭のために準備してくださった看板です。会場は始まる前から、すでにお祭りムード全開でした。

出店には、昨年に引き続き「宝塚ちどり」で勤務している、インドネシア介護福祉士候補者が中心となり、インドネシアの郷土料理を準備しました。ココナッツミルクをたっぷり使った、辛さ控えめの日本人向け「チキンジャワカレー」に、本場の定番・海老せんべいをトッピングした料理は、アツという間に完売しました。

他にも、地域ボランティアにお手



伝いしていただき焼きそば・フルーツ・たこ焼き・綿菓子・ジュース・ビールなど、夏祭りならではの店を数多く出店しました。

当日は気温が高く、蒸し暑かった

こともあり、よく冷えたジュースやビールも飛ぶように売れていました。

また、毎年、近所の子どもたちが心待ちにしているゲームコーナーでは、ヒモ引きと、的当てが大人気でした。ゲームコーナーの前には、長蛇の列ができ、子どもたちが真剣にゲームをして、様々な景品を、目を輝かせながら選んだり、元氣一杯に声をあげながら、一喜一憂するほほえましい光景が広がっていました。

また、恒例の「すいか割り」にも人だかりができました。目隠しをした子どもたちが、周囲の声を頼りに、すいかを割る姿に、大きな笑い声や



歓声が起こっていました。割ったすいかは、職員がその場で切り分け、見学の皆様に召し上がっていただきました。大きなすいかを、大人数で切り分けて食べる機会が少ないので、お喜びいただけたのではないのでしょうか。

そして、夏の風物詩・盆踊りを、福井・亀井町婦人部、御所の前のそれぞれのボランティアの方々から輪になって踊っていただきました。輪の周りでは、車椅子のご利用者も、音頭に合わせ、手拍子をされ楽しまれています。やぐらを囲み、提灯の灯りに照らされ、浴衣姿で踊る様子により一層、日本の夏を感じました。その他、大道芸人がパフォーマンスを披露しました。パフォーマンスは二回行われ、一回目は館内にあるご利用者向けに、二回目は屋外で行いました。二回目の公演では、ス



ピード感ある迫力満点のパフォーマンスに、観客から大きな歓声が上がっていました。

バザーは、ご家庭でご不要になった品物を多数ご寄贈いただき、本年も充実した内容になりました。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

最後になりましたが、今回の納涼祭は、地域住民の方々のご理解、ボランティアの方々による準備段階からのご協力があり、無事に開催することができました。納涼祭の実行委員会を代表して、厚く御礼申し上げます。

来年もまた、今年以上に楽しいお祭りになりたいと思いますので、たくさんのご参加をお待ちしています。



◆ユニット報告

逆瀬川・星の荘ユニット

現在、ユニットのベランダを利用して、野菜や花を栽培しています。ご利用者に水やりをお手伝いしてい

ただき、職員と一緒に育てています。

季節柄、植物の成長も早く、すでにトマトやゴーヤを収穫しています。採れたての野菜は鮮度抜群！すぐに調理し、おいしくいただきます。次の収穫を、皆で楽しみにしています。(鍛冶)



青葉台・五月台ユニット



七月三十日(火)、当ユニットの共同スペースで、ハーモニカの演奏会が行われました。

開始直後は、目を閉じ、懐かしの名曲に静かに耳を傾けておられました。曲数を重ねるにつれ、次第に歌詞カードを片手に演奏にあわせ歌を口ずさま

れるご利用者もいらっしやいました。演奏会后、ご利用者から口々に、「懐かしかったわ〜」と久しぶりに歌って楽しかった!」とお喜びのコメントを多数いただきました。昔を思い出しながら、楽しく唄う。そんな素敵なひとときになりました。

(池下)

◆委員会報告

サービス向上委員会

七月の委員会では、前回に引き続き、「グラッド・グッド報告書」の実施に向けて、具体的な日にちや進め方を調整しました。この報告書を導入することによって、ご利用者とユニットの推進につなげていけるように取り組んでいきます。

次回の「カラオケ喫茶」は、九月二十七日(金)となりましたので、沢山のご利用者にご参加いただけるように準備していきます。(北辻)

給食委員会

ユニットに直接出向き、できたて

のおやつを作って食べる「出張リクエストおやつ」として、「仁川・武庫川ユニット」で、たこ焼きを作りました。

「さすが関西人!？」と思うような慣れた手つきで具材を入れ、竹串でクルクルツと器用にひっくり返すと、アツという間に、たこ焼きの完成。どんな料理でもできたてに勝るものはなし!アツアツのたこ焼きを、皆さんたくさんおかわりされました。



八月二十日(火)の昼食には「盛り付けコンテスト」を開催する予定です。

「見た目の美しさも、おいしさのうち」と言うほど、盛りつけは大切です。「おいしそう!食べたい!」と思っていたただける盛りつけの工夫や、食事の環境を整えることにも目を向け、お一人おひとりの食生活が充実

したものとなるよう取り組んでいきたいと思えます。(向川)

研修委員会

七月十日の委員会では「食事介助研修」と「口腔ケア研修」の実施について、内容を協議しました。

「食事介助研修」は、言語聴覚士(ST)を講師に招いて、食事時の正しい姿勢や飲み込む際のメカニズムなど、基本的なことからもう一度学んでいきたいと思えます。

また、「口腔ケア研修」は歯科衛生士を講師に招いて、基礎編と実践編の二回に講義を分けて、学習します。

二つの研修で得た知識や技術を日々のケアに生かせるようにしていきます。(尾崎)



感染症委員会

委員会では、食中毒の原因菌「腸

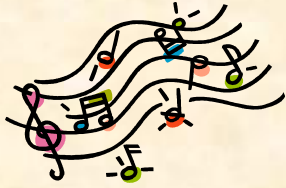
管出血性大腸菌感染症 O157」について話し合いました。私たちの身近に起こりえる感染症は、しっかりとした予防が大切です。

- ① 菌をつけない（清潔・洗浄）
 - ② 菌を増やさない（迅速・冷却）
 - ③ 菌をやっつける（加熱・殺菌）
- ユニット内に食中毒ポスターを貼り、注意を呼びかけています。（向川）

地域交流委員会

七月三十日にハーモニカ演奏ボランティアの方々による演奏会を開催し、楽しい時間を過ごしていただきました。

今後の予定としては、ご入居者が職員と一緒に、月一回程度、地域（近隣）へ買い物に出かけることを企画しています。ご利用者の方々に安全に楽しんで頂けるように、準備していきます。（池下）



事故防止委員会

七月の会議では、前回の会議から

各ユニットで起こった事故の中で、職員の過信によって起こったと考えられる事故を精査しました。「今まで事故がなかったから、これから大丈夫」と断定するのではなく、常に「もしも」の事故を想定し、事故を未然に防ぐことが大切であると再確認しました。

八月には「事故防止研修」を実施します。研修では、職員が実際に起こった事例を実演し、事故に繋がる要因となった原因を参加者一人ひとりに考察してもらい、同じような事故を未然に防いでいきたいと考えています。（吉田）

敬老祝賀会を開催します

九月十五日（日）十四時から十五時、一階デイルームにて「敬老祝賀会」を開催します。

喜寿・米寿・白寿・百歳以上のご利用者を対象に、表彰式と記念品を贈呈し、長寿とともに喜び、今後の健康を願って、お祝いしたいと思います。（森本）

ISOの審査を受けました

六月十三・十四日とISOの審査を受け、無事にライセンスを継続しました。これもご利用者・ご家族・関係者の皆様のご理解とご協力によるものと、感謝しております。

目標に対しての具体的な取り組みとして、医務室・感染症委員会を中心としたノロウイルスやインフルエンザなどの感染症防止対策の実施、給食委員会では食事の嗜好調査を行い、満足度の高い食事の提供に努めました。今回の審査では、この点を高く評価していただきました。

今年度も同様の視点で環境について考えていき、あわせてご利用者満足度を高めていけるよう行動していきたいと思います。（森本）

編集後記

立秋とは名ばかりで、まだまだ猛暑が続いています。しっかりと水分補給をして、脱水症状や熱中症にお気をつけ下さい。（中村）

